

## 管理者が「書くまで返さないぞ」

## 組合員の監禁を許さない！

本日、東京第二運輸所分会組合員・今城さんに対し、管理者三人（岡田科長、佐藤隆助役、宮内助役）が取り囲み、時系列等報告書の強要をした。これを拒否した今城さんに対し、管理者は「書くまで返さない」と恫喝し、約1時間20分にわたり監禁状態にした上、8日から不当にも乗務停止をかけたのである。

今城さんは、運転士として乗務中、乗客が原因で戸閉め表示灯が点滅し、その関係で遅延が発生したことを指令に報告した。そして、乗務報告書にもこの件についての報告を記載している。今城さんに何も過失はないのである。

今城さん本人が管理者に、地本が幹鉄事にそれぞれ抗議を行ったため、監禁は取りやめになったが、黙っていれば会社は長時間の監禁をしたに違いない。まさに人権侵害であり、絶対に許さない！

この異常な労務管理は、「窃盗事件」デッチ上げ・不当弾圧・不当懲戒解雇と並行してやられているものである。私たちは、不当な労務管理を許さず、職場闘争を強化しよう！

監禁では物足りず、  
不当乗務停止！